

上球磨地域の 介護保険事業状況

令和元年11月22日 介護予防ケアマネジメント研修会資料
多良木町・湯前町・水上村

第1号被保険者数・介護保険料

多良木町

年齢区分	H30.8末	R1.8末
65～74歳	1,688人	1,722人
75～84歳	1,316人	1,305人
85歳以上	895人	913人
計	3,899人	3,940人

湯前町

年齢区分	H30.8末	R1.8末
65～74歳	662人	669人
75～84歳	587人	571人
85歳以上	383人	391人
計	1,632人	1,631人

水上村

年齢区分	H30.8末	R1.8末
65～74歳	347人	358人
75～84歳	344人	327人
85歳以上	225人	226人
計	916人	911人

厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報より

介護保険料基準額（月額）

	6期 (H27～29)	7期 (H30～R2)
多良木町	6,200円	6,600円

	6期 (H27～29)	7期 (H30～R2)
湯前町	5,000円	6,200円

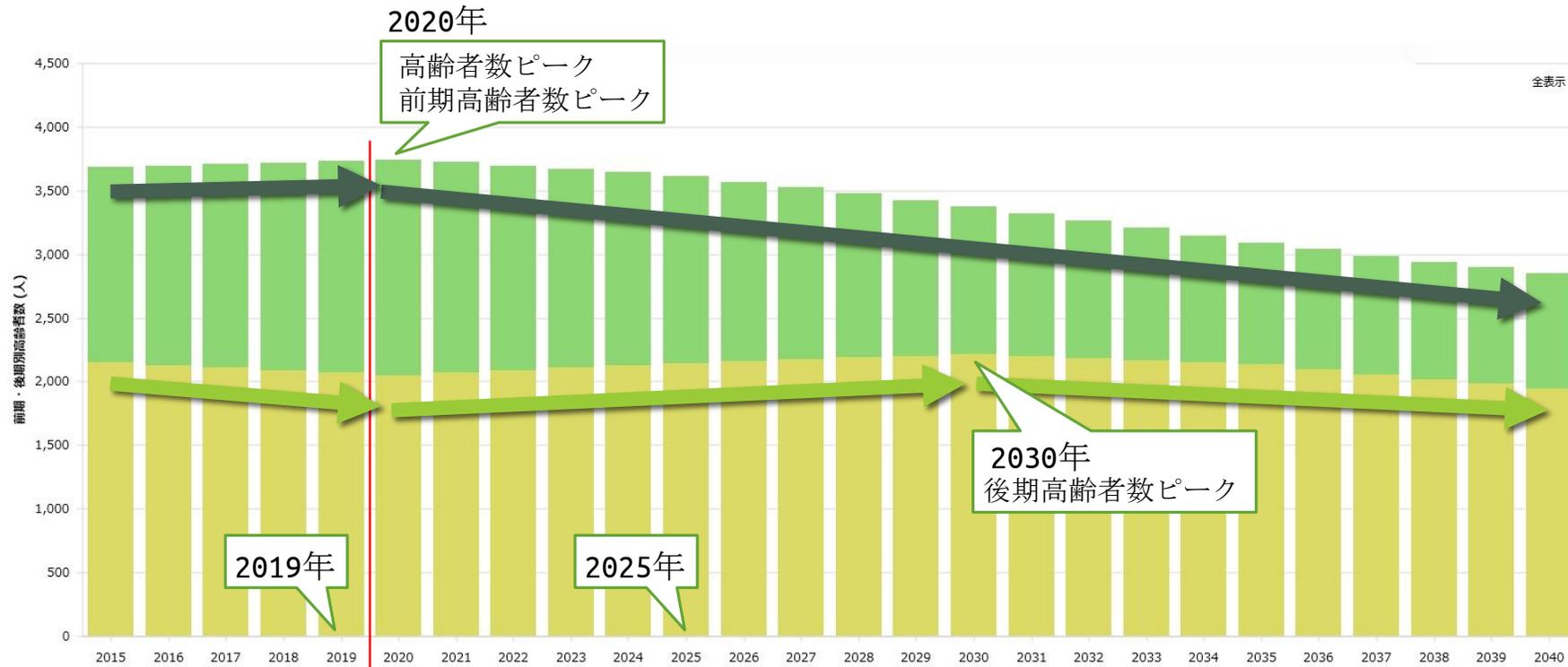
	6期 (H27～29)	7期 (H30～R2)
水上村	5,600円	6,200円

前期・後期高齢者数(将来推計人口)

多良木町

前期・後期別高齢者数

■ 後期高齢者数 ■ 前期高齢者数



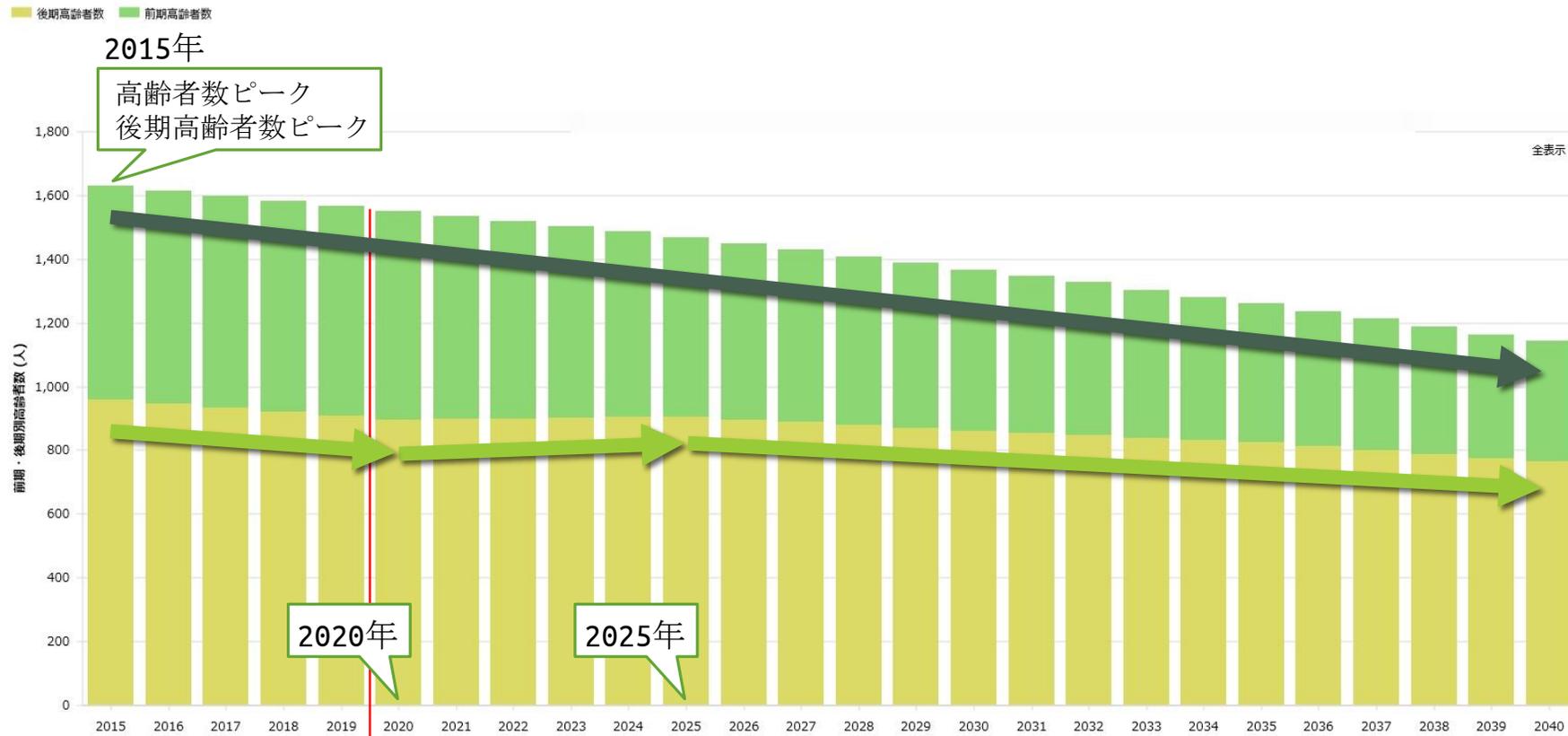
(注) 注目する地域 多良木町
(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

地域包括ケア「見える化」システムより

前期・後期高齢者数(将来推計人口)

湯前町

前期・後期別高齢者数



(注) 注目する地域) 湯前町
(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

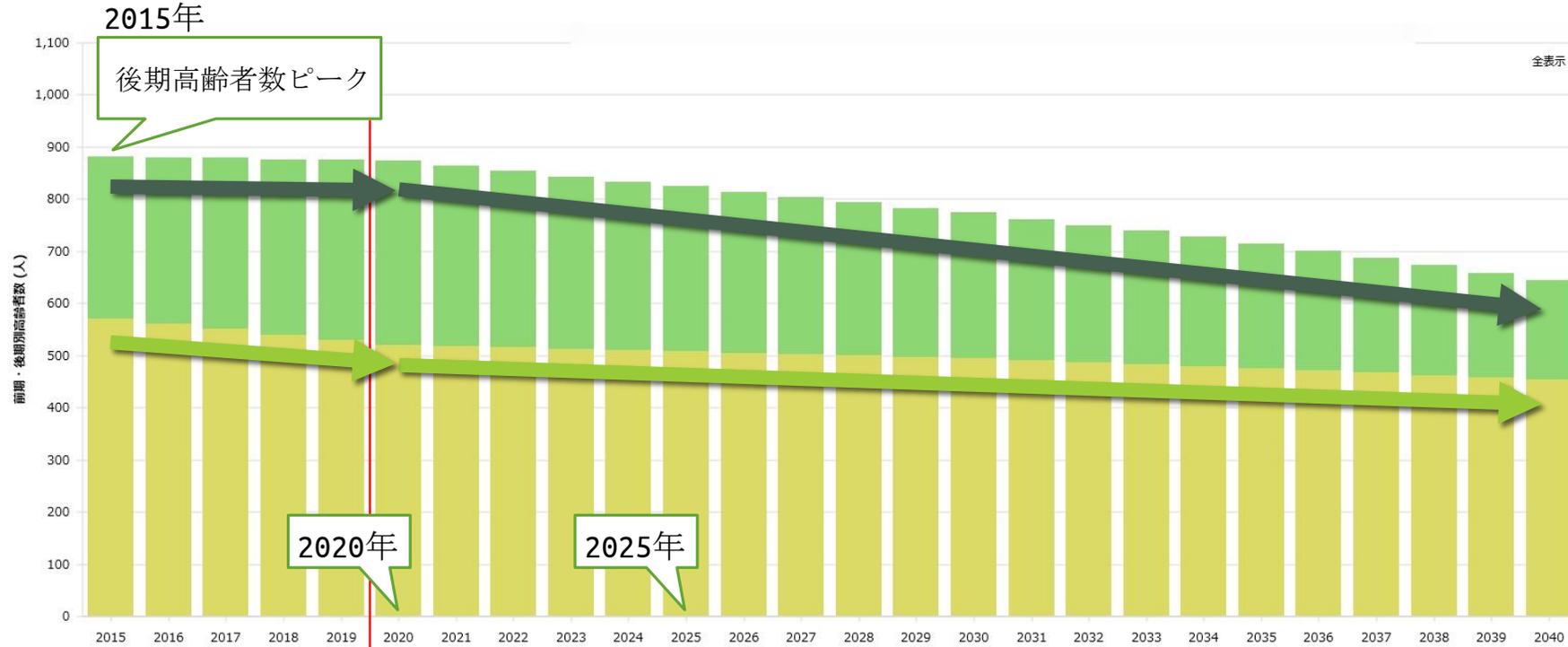
地域包括ケア「見える化」システムより

前期・後期高齢者数(将来推計人口)

水上村

前期・後期別高齢者数

■ 後期高齢者数 ■ 前期高齢者数



(注) 注目する地域 水上村
(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

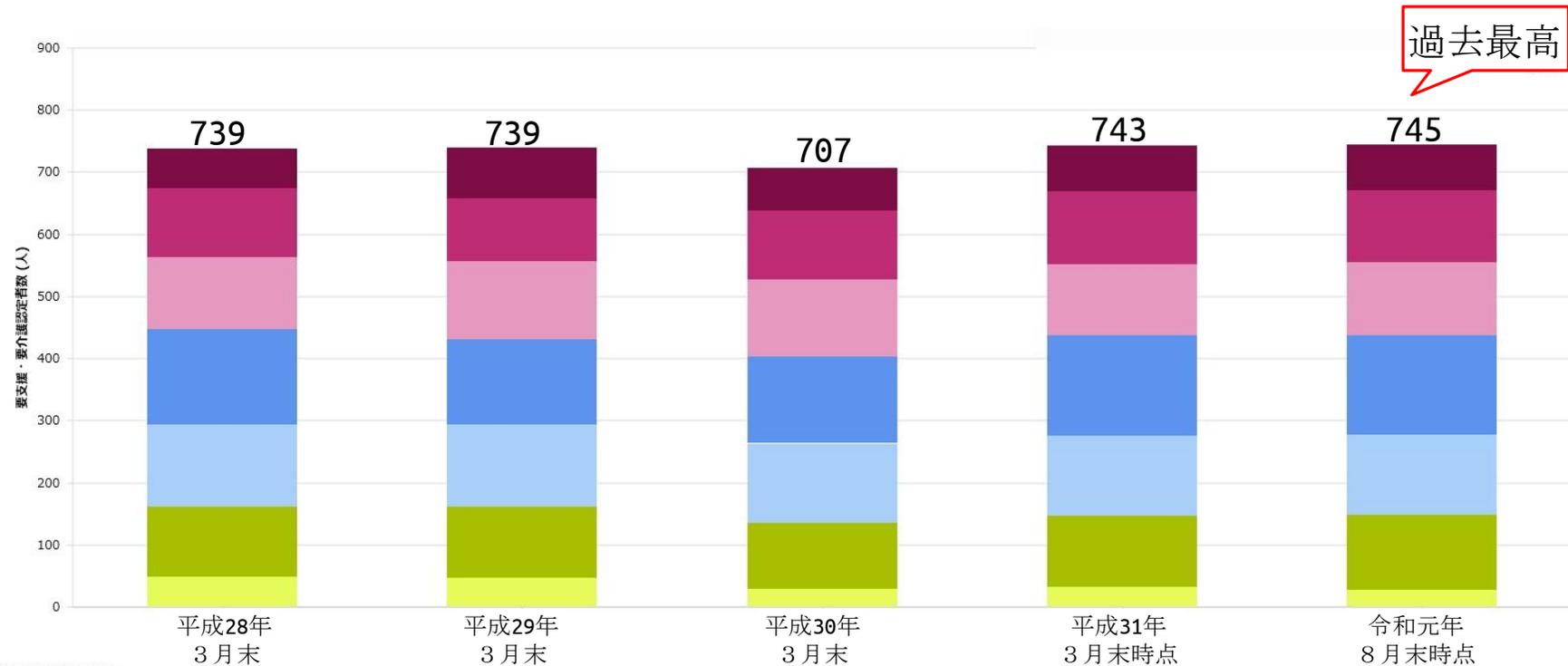
地域包括ケア「見える化」システムより

要支援・要介護認定者数(推移)

多良木町

要支援・要介護認定者数(要介護度別)

要支援1 要支援2 経過的要介護 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

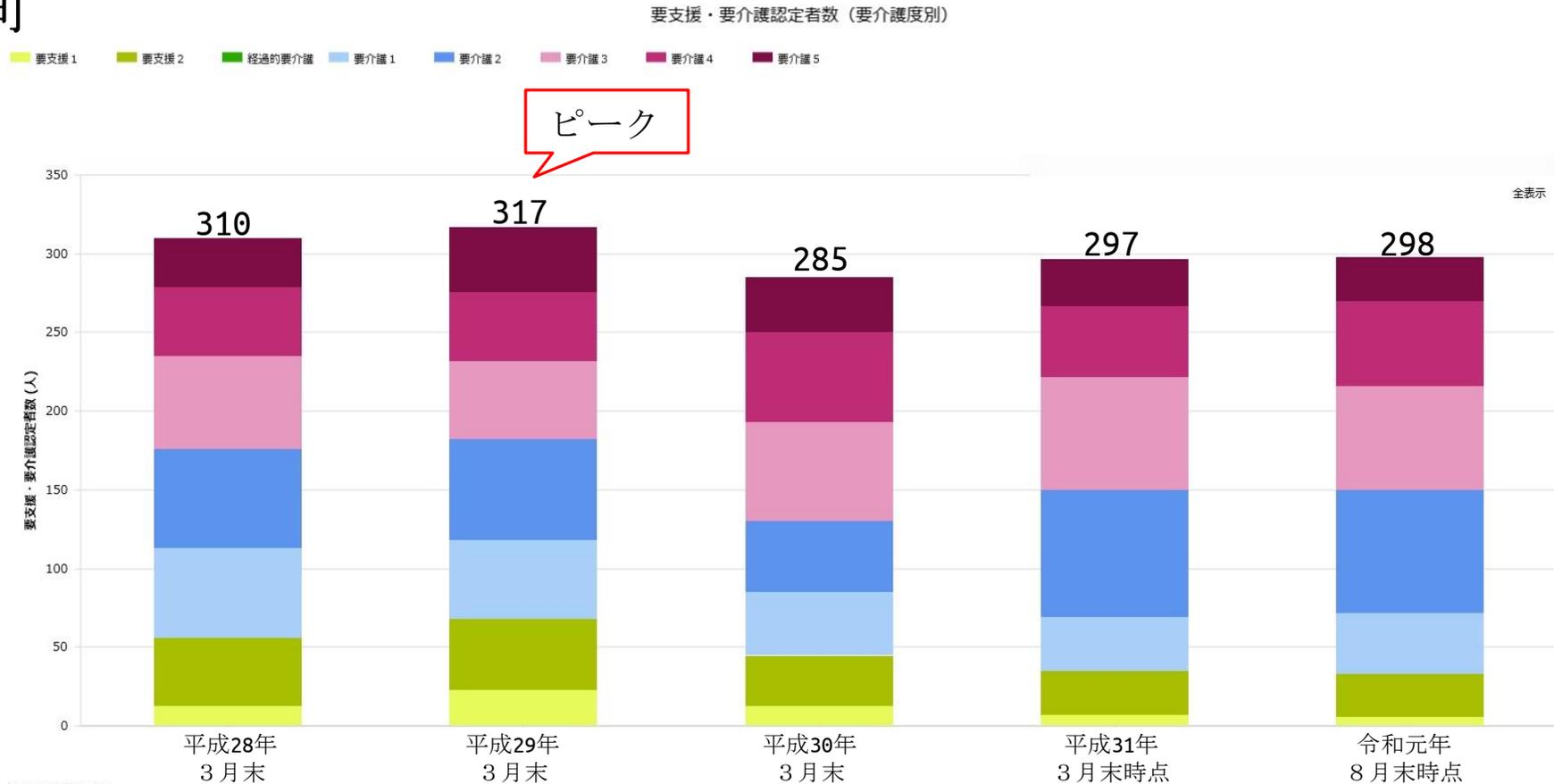


(注目する地域) 多良木町
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

要支援・要介護認定者数(推移)

湯前町

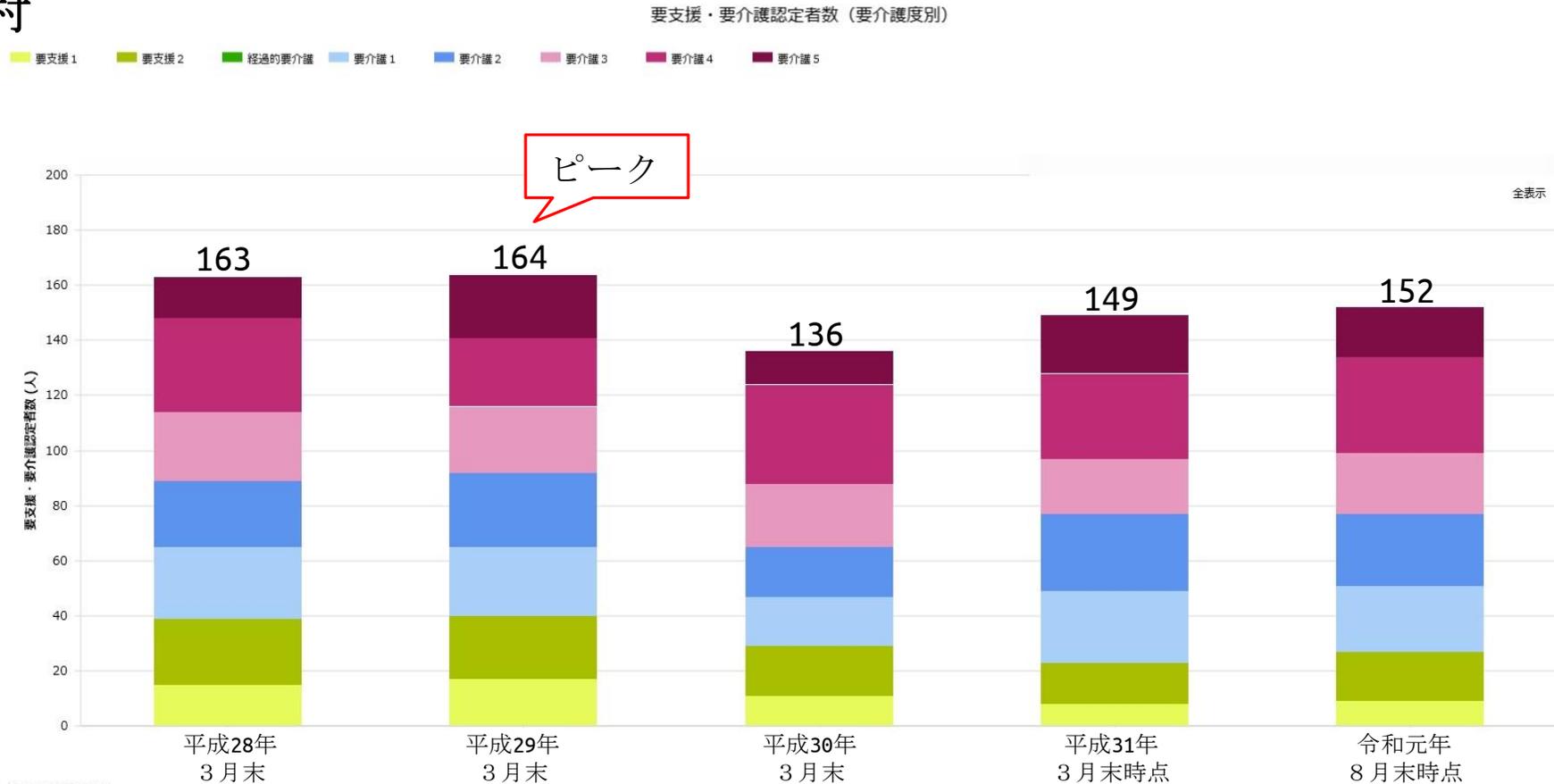


(注目する地域) 湯前町
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

要支援・要介護認定者数(推移)

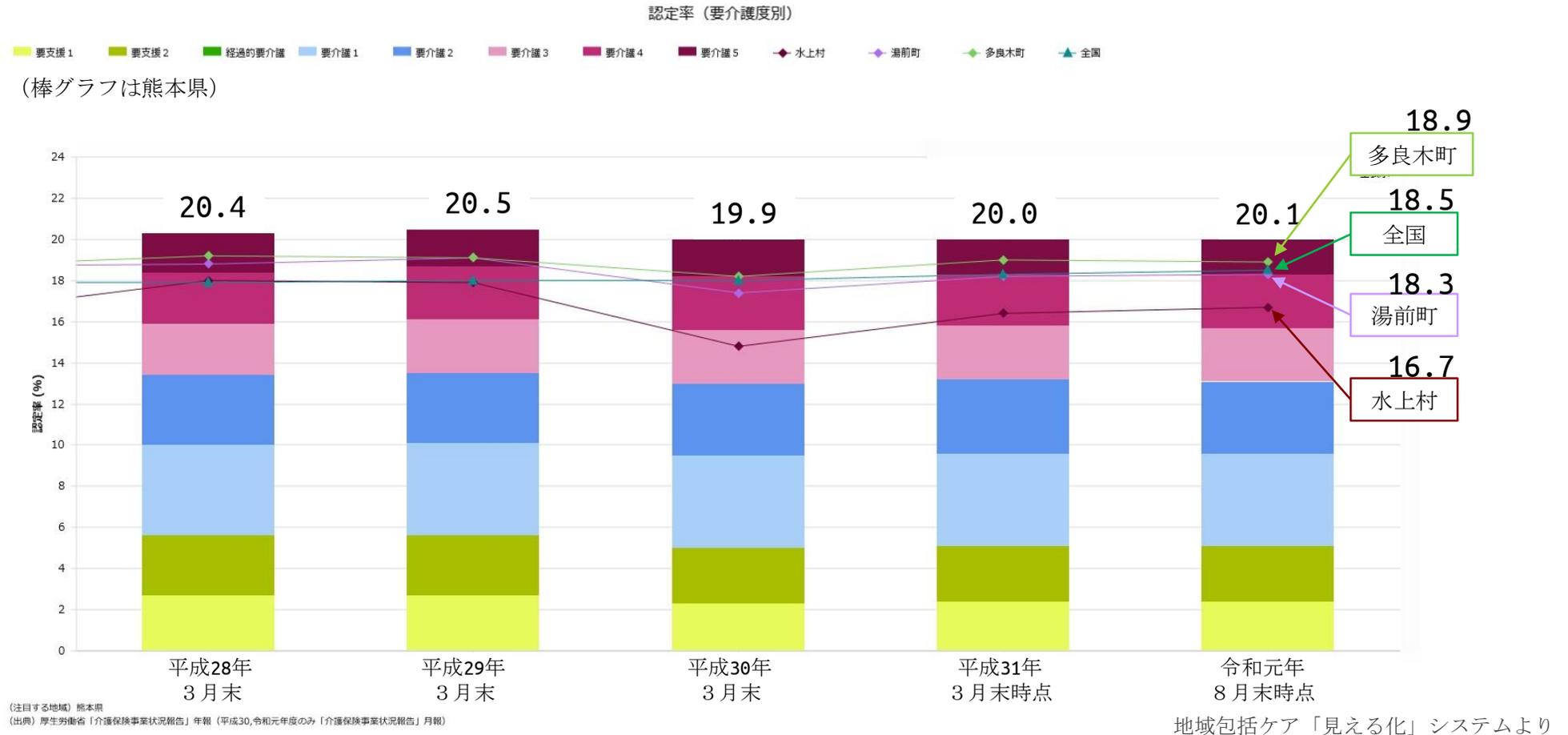
水上村



(注目する地域) 水上村
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

認定率（推移）

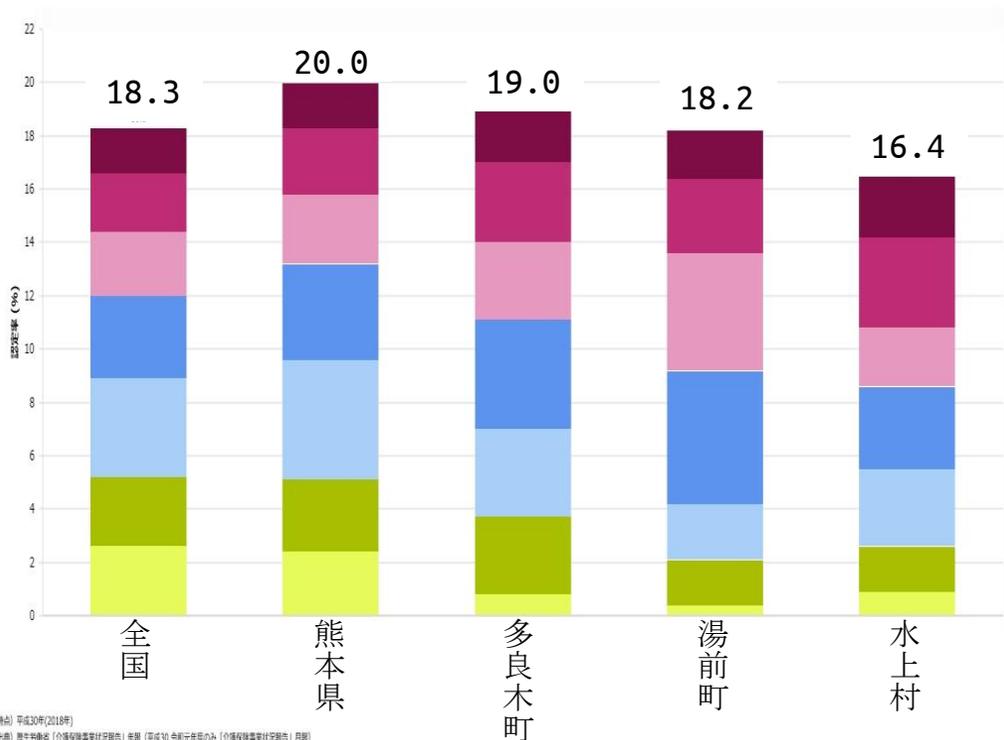


「認定率」…要支援・要介護認定者の人数を、第1号被保険者数で除した値。

認定率・調整済み認定率

認定率（要介護度別）

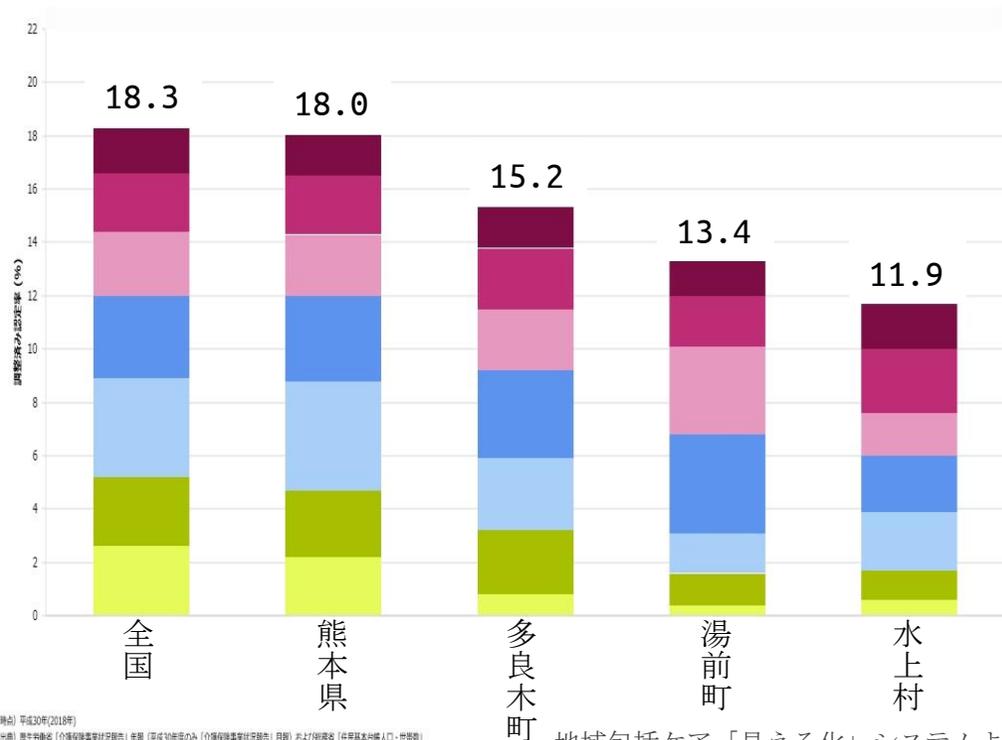
要介護1 要介護2 軽度の要介護 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5



(時点) 平成30年(2018年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

調整済み認定率（要介護度別）

要介護1 要介護2 軽度の要介護 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5



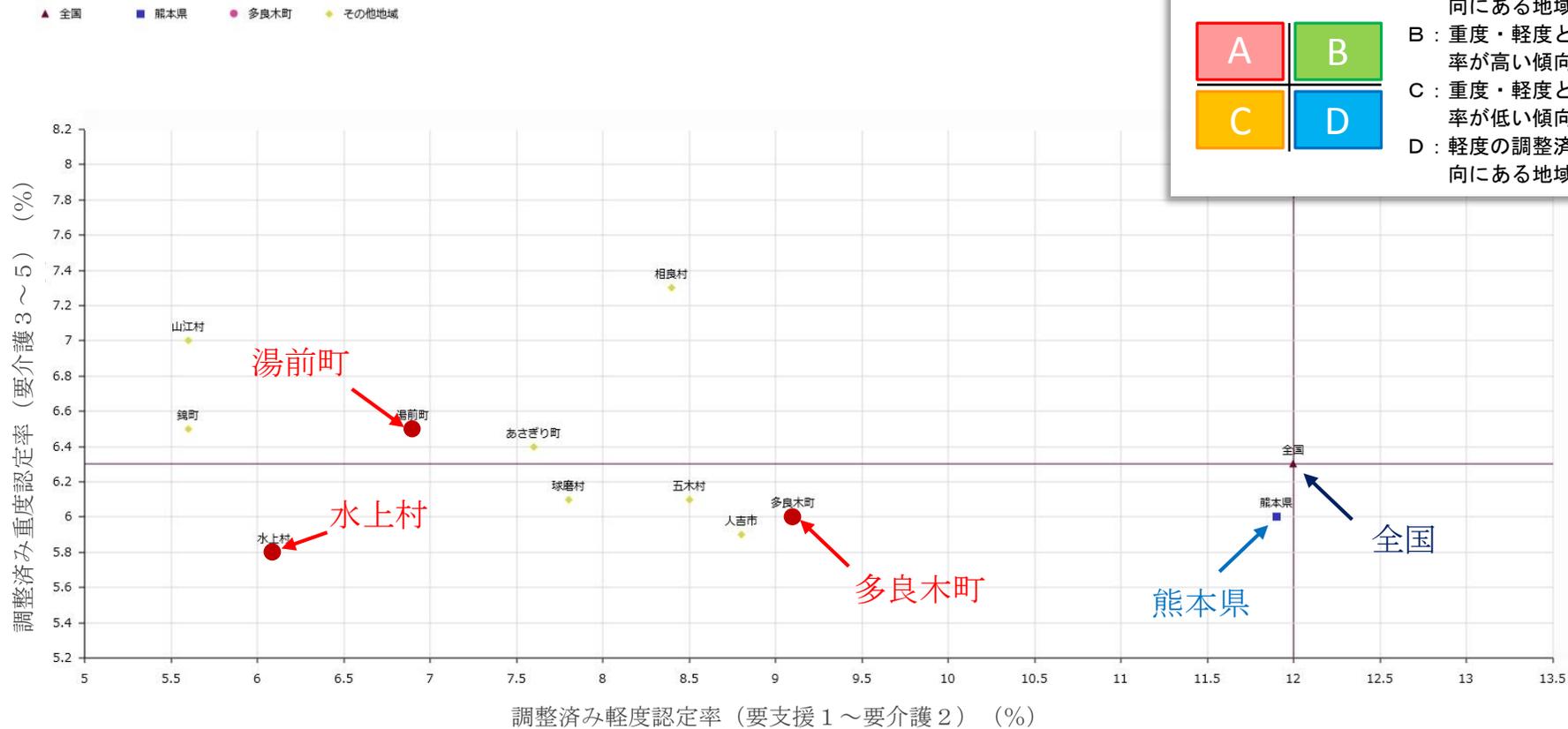
(時点) 平成30年(2018年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

地域包括ケア「見える化」システムより

「調整済み認定率」...認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率。

重度認定率と軽度認定率の分布

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布



A	B
C	D

- A : 重度の調整済み認定率が高い傾向にある地域
- B : 重度・軽度ともに調整済み認定率が高い傾向にある地域
- C : 重度・軽度ともに調整済み認定率が低い傾向にある地域
- D : 軽度の調整済み認定率が高い傾向にある地域

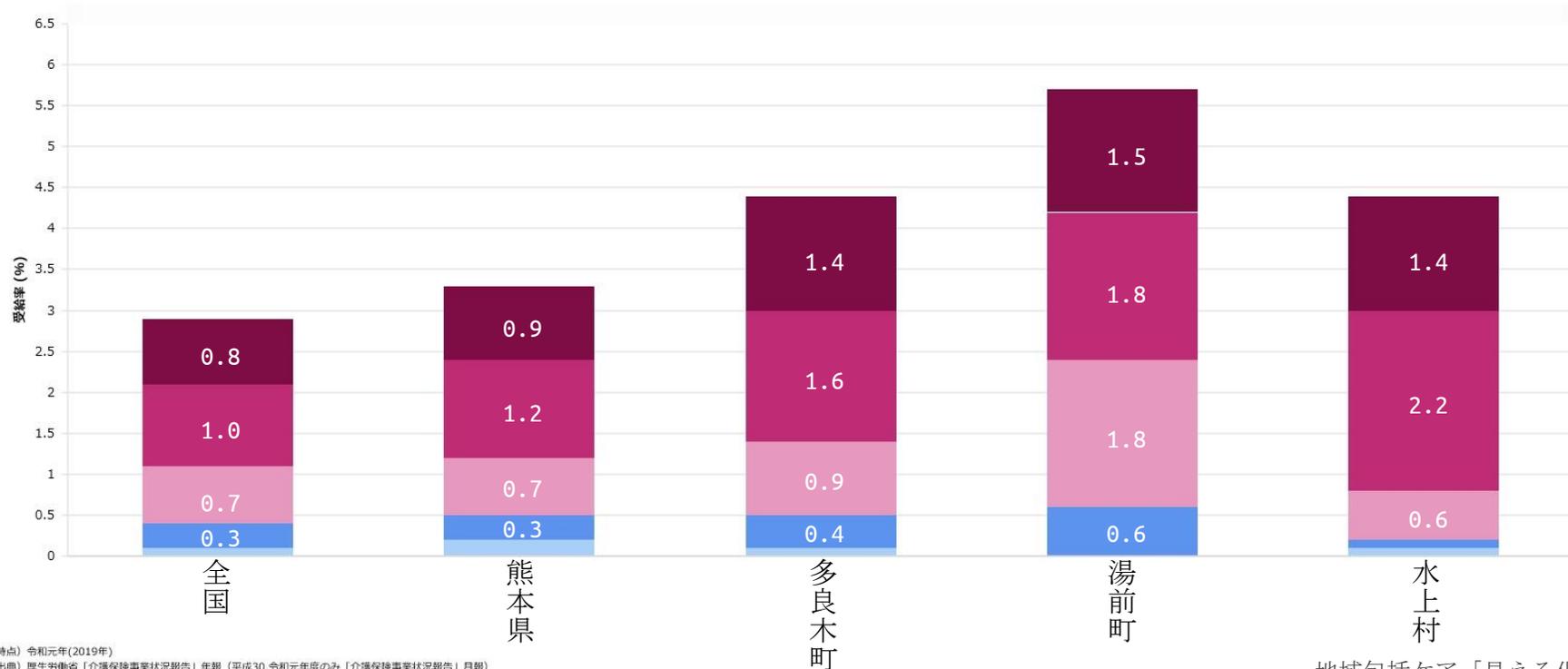
(時点) 平成30年(2018年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

受給率（施設サービス）

「施設サービス」
 介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設
 入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療
 養型医療施設、介護医療院

受給率（施設サービス）（要介護度別）

■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5



(時点) 令和元年(2019年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

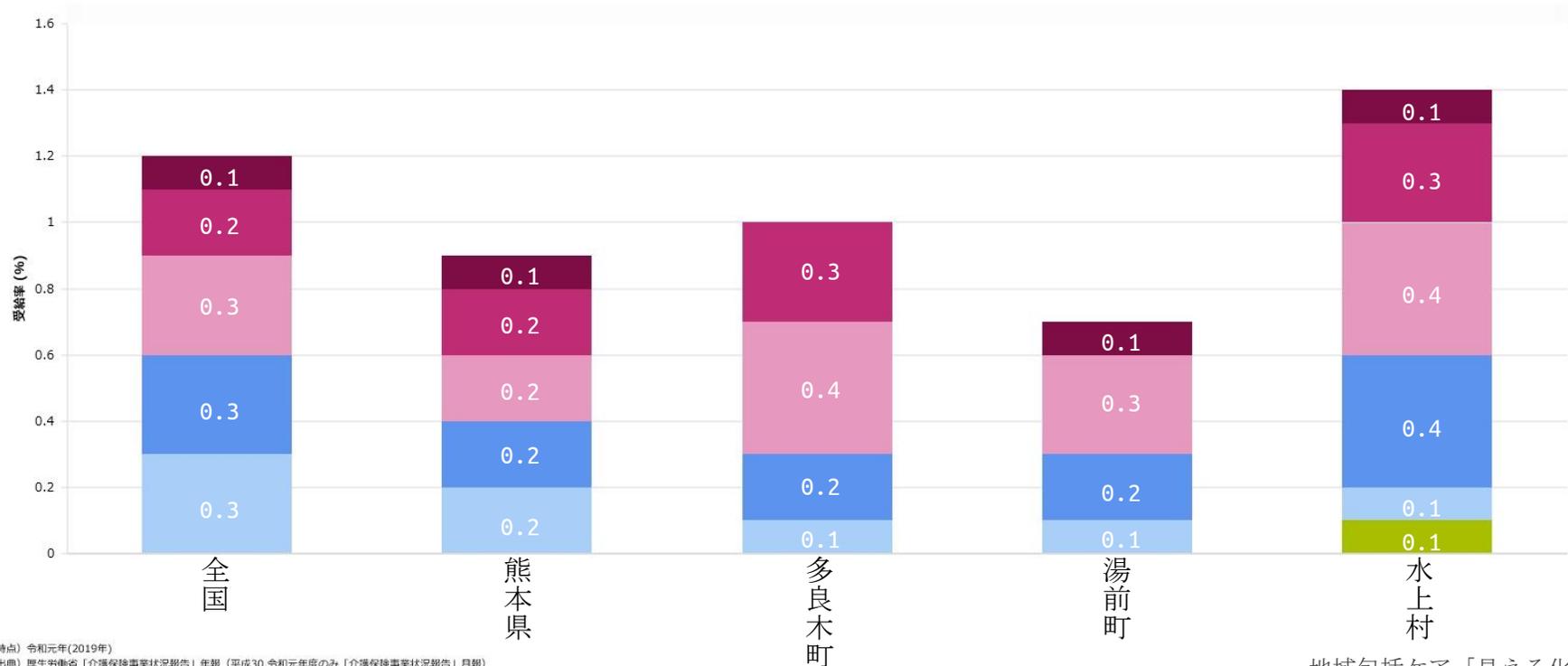
「受給率（施設サービス）」…当該月の施設サービスの受給者数を、第1号被保険者数で除した数。

受給率（居住系サービス）

「居住系サービス」
 特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

受給率（居住系サービス）（要介護度別）

要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5



(時点) 令和元年(2019年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

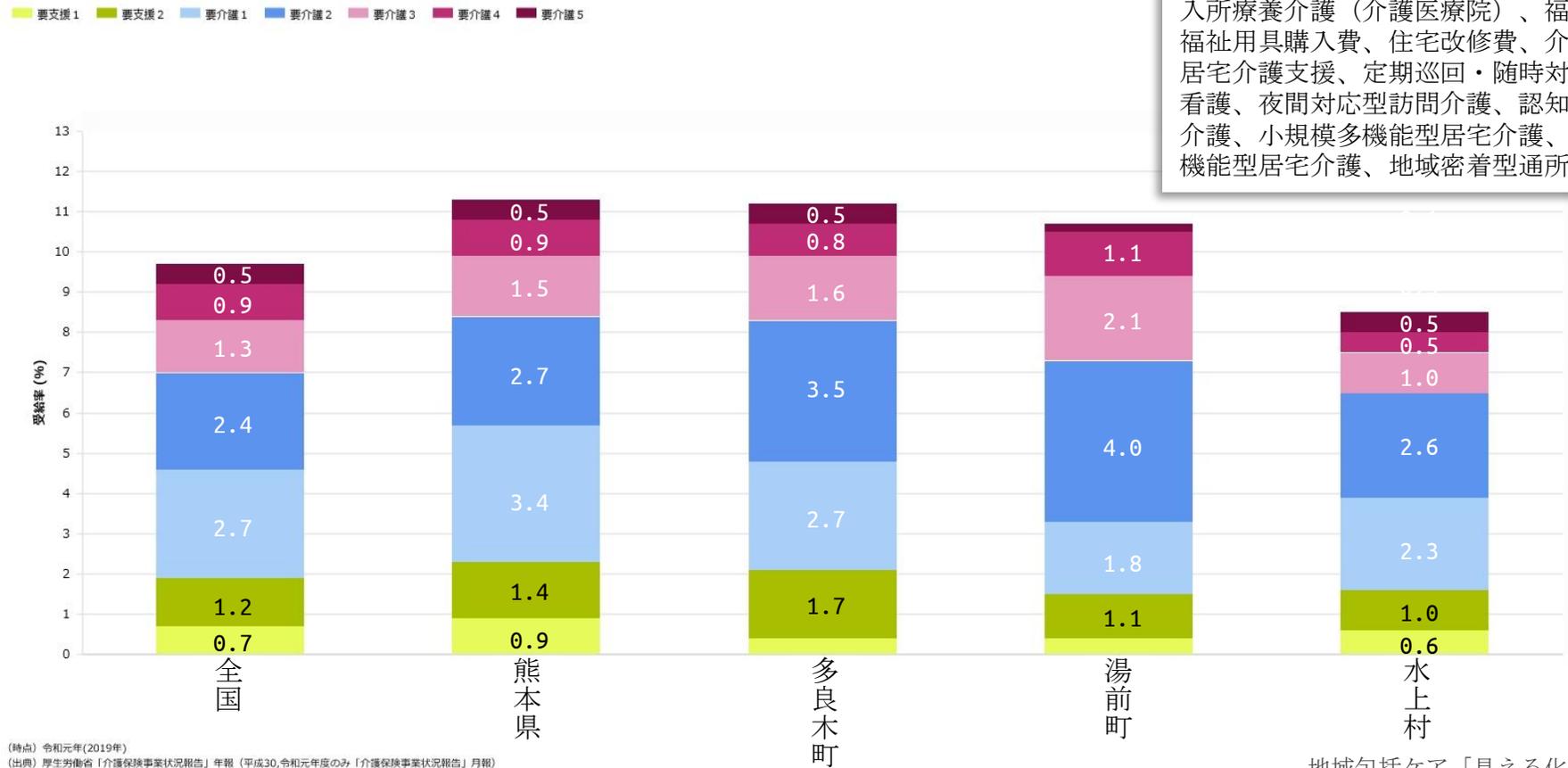
地域包括ケア「見える化」システムより

「受給率（居住系サービス）」…当該月の居住系サービスの受給者数を、第1号被保険者数で除した数。

受給率（在宅サービス）

「在宅サービス」
 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

受給率（在宅サービス）（要介護度別）



(時点) 令和元年(2019年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

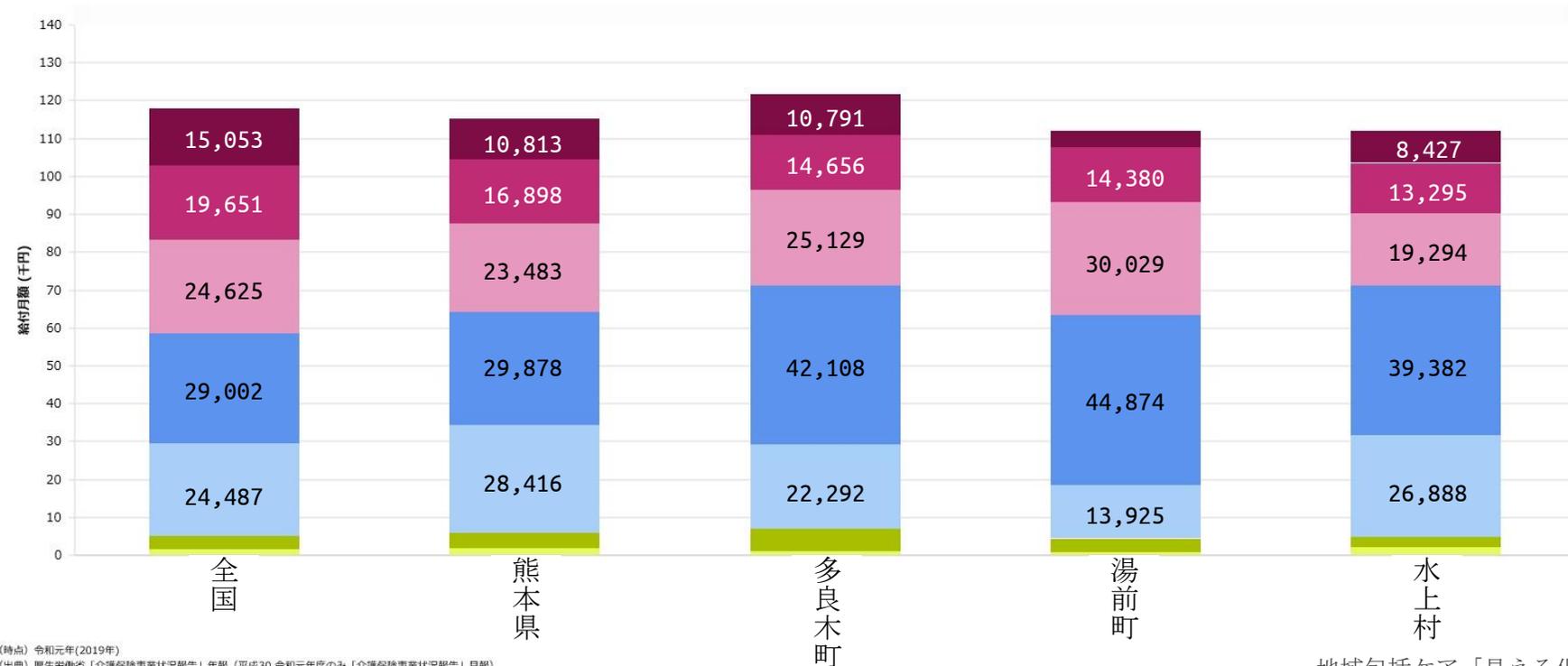
地域包括ケア「見える化」システムより

「受給率（在宅サービス）」…当該月の在宅サービスの受給者数を、第1号被保険者数で除した数。

受給者1人あたり給付月額 (在宅サービス)

受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（在宅サービス）

■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

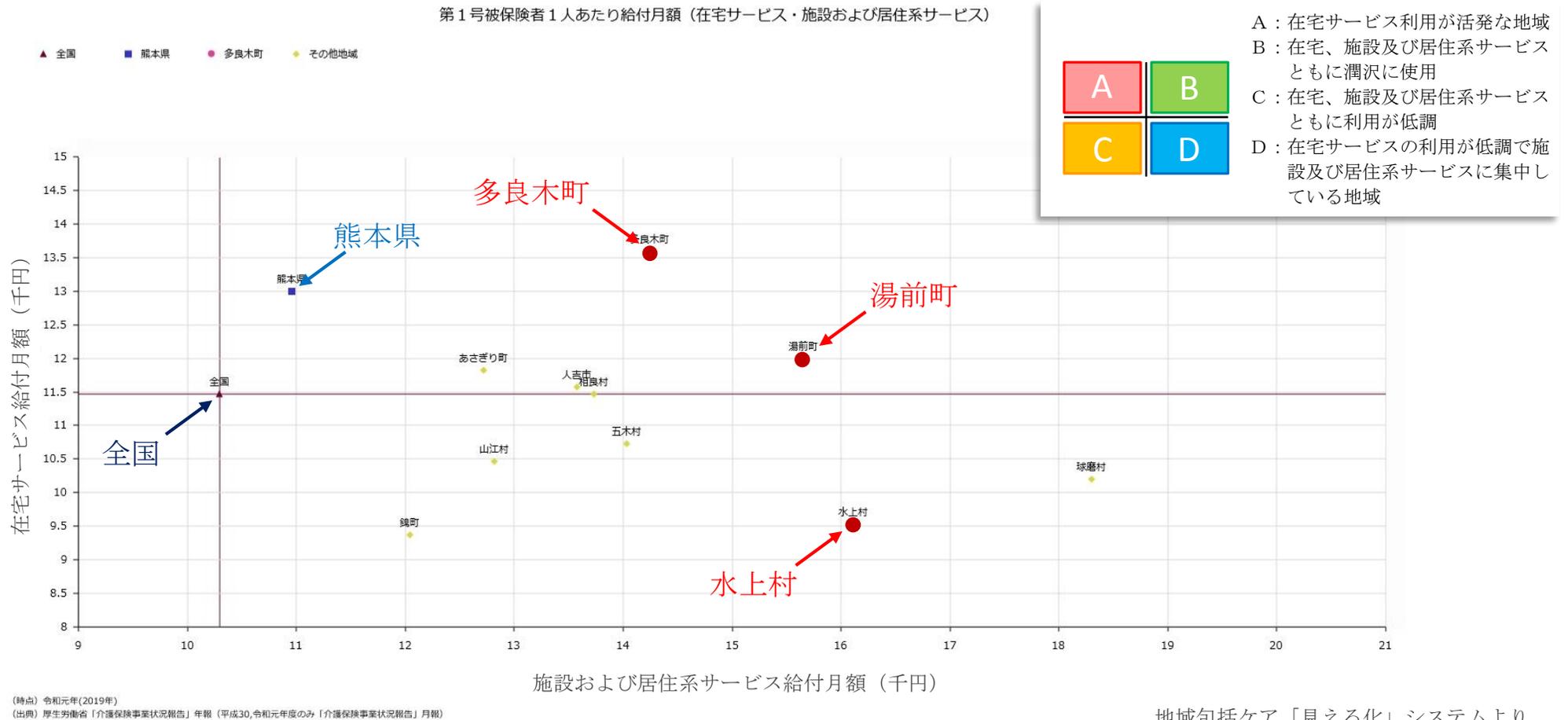


(特点) 令和元年(2019年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

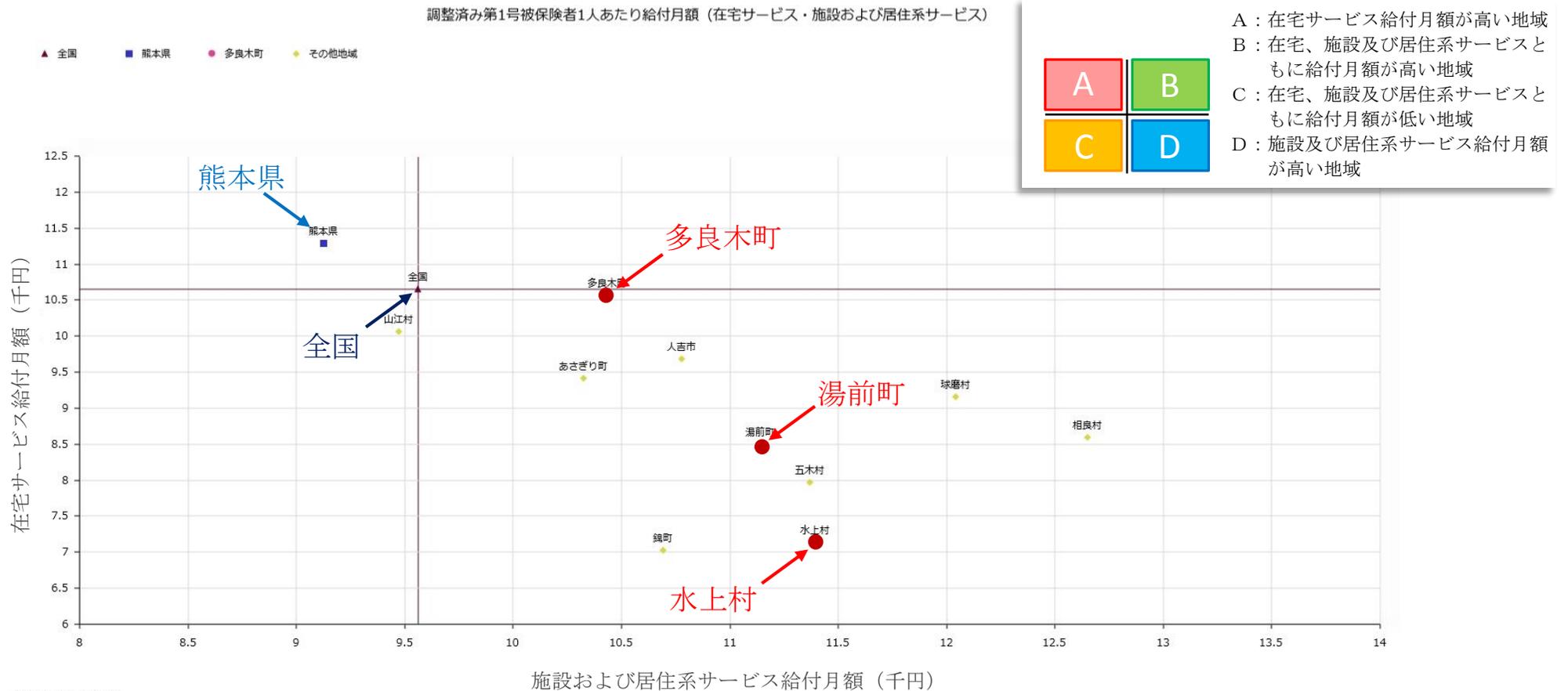
「受給者1人あたり給付月額（在宅サービス）」…在宅サービスの給付費総額を在宅サービスの受給者数の総和で除した数。

第1号被保険者1人あたり給付月額



「在宅サービス給付月額」...在宅サービス給付費の総額を第1号被保険者数で除した数。
 「施設および居住系サービス給付月額」...第1号被保険者に対する施設および居住系サービス給付費の総額を第1号被保険者数で除した数。

調整済み 第1号被保険者1人あたり給付月額



(時点) 平成29年(2017年)
 (出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

地域包括ケア「見える化」システムより

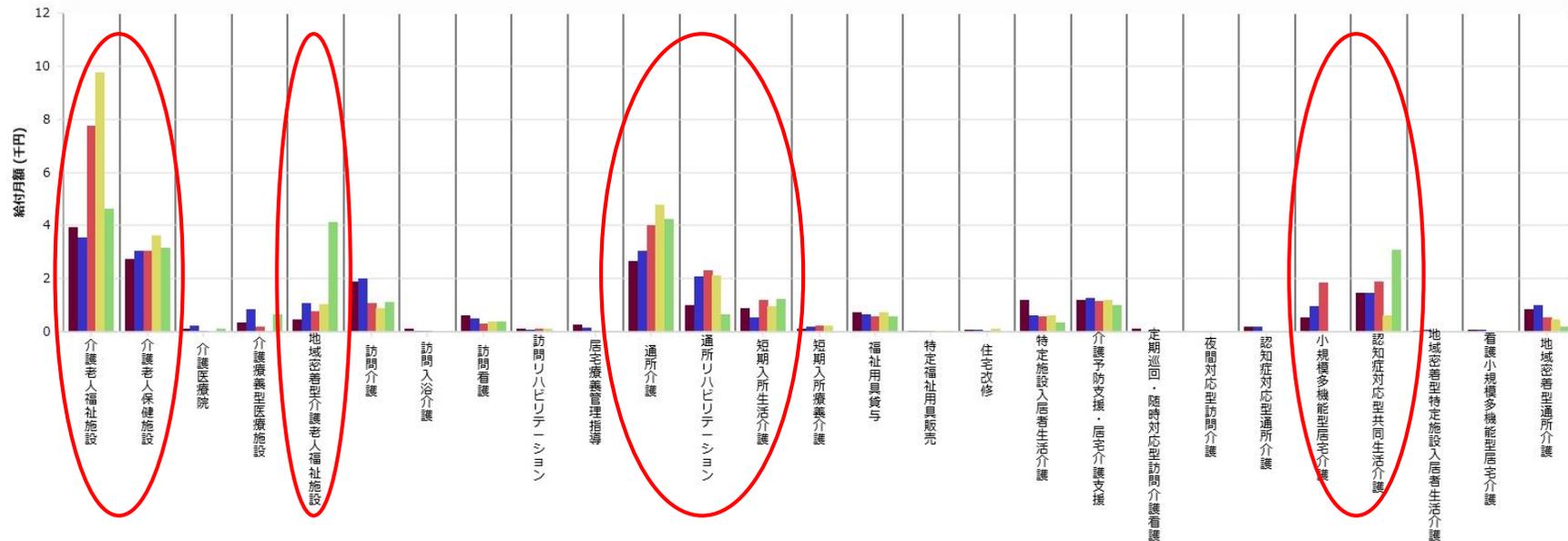
第1号被保険者1人あたり給付月額

(サービス種類別)

第1号被保険者1人あたり給付月額 (サービス種類別)

■ 全国 ■ 熊本県 ■ 多良木町 ■ 湯前町 ■ 水上村

○ 全国・県平均より数値が大きいサービス



(時点) 令和元年(2019年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

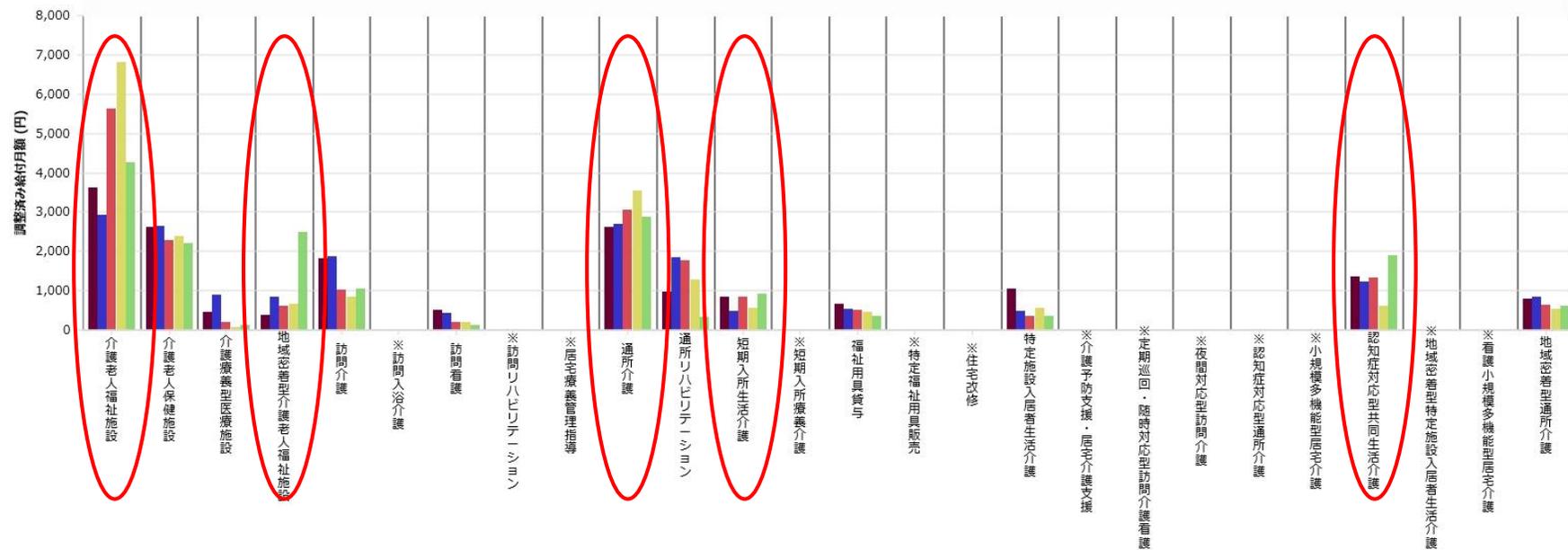
調整済み 第1号被保険者1人あたり給付月額

(サービス種類別)

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額 (サービス種類別)

■ 全国 ■ 熊本県 ■ 多良木町 ■ 湯前町 ■ 水上村

○ 全国・県平均より数値が大きいサービス



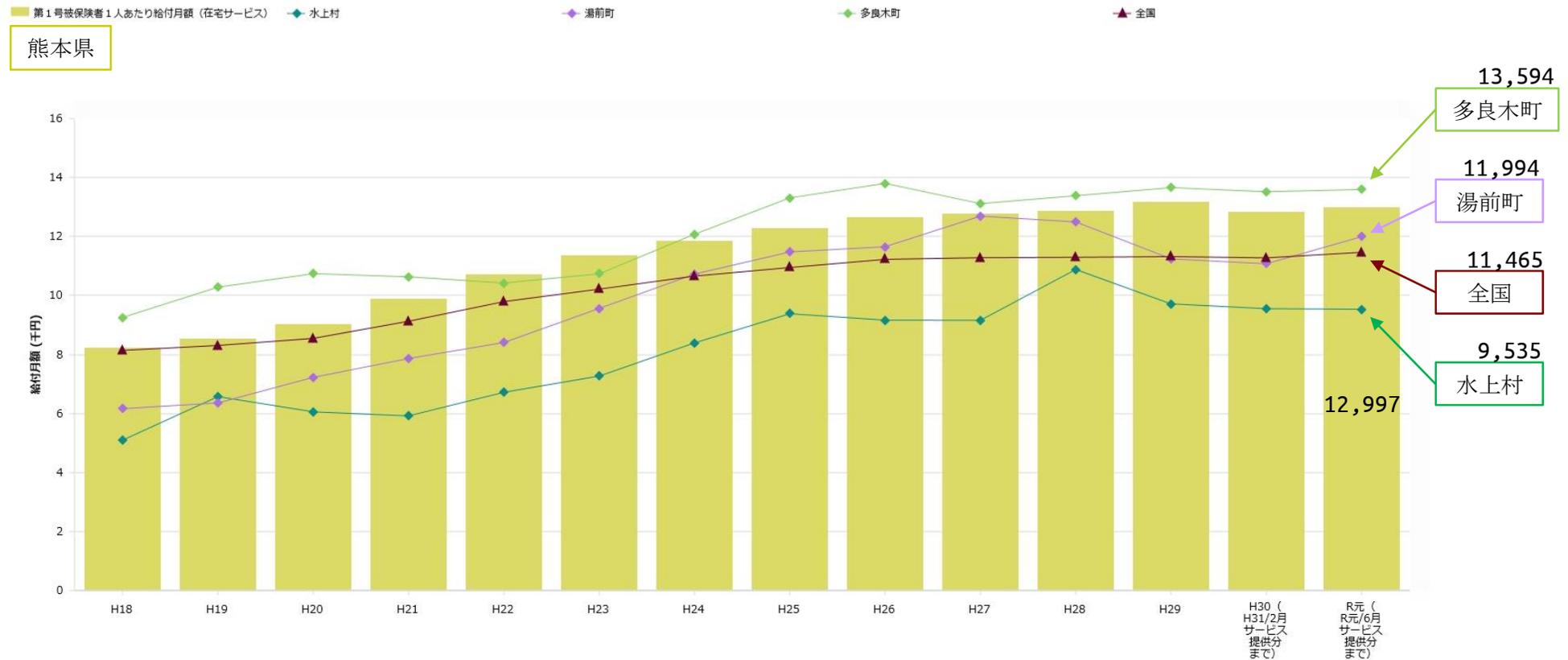
(時点) 平成29年(2017年)
 (出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」
 本指標は比較的用户の多い介護サービスの集計を行っております。

地域包括ケア「見える化」システムより

第1号被保険者1人あたり給付月額

(在宅サービス)

第1号被保険者1人あたり給付月額 (在宅サービス)



(注目する地域) 熊本県
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

第1号被保険者1人あたり給付月額

(施設および居住系サービス)

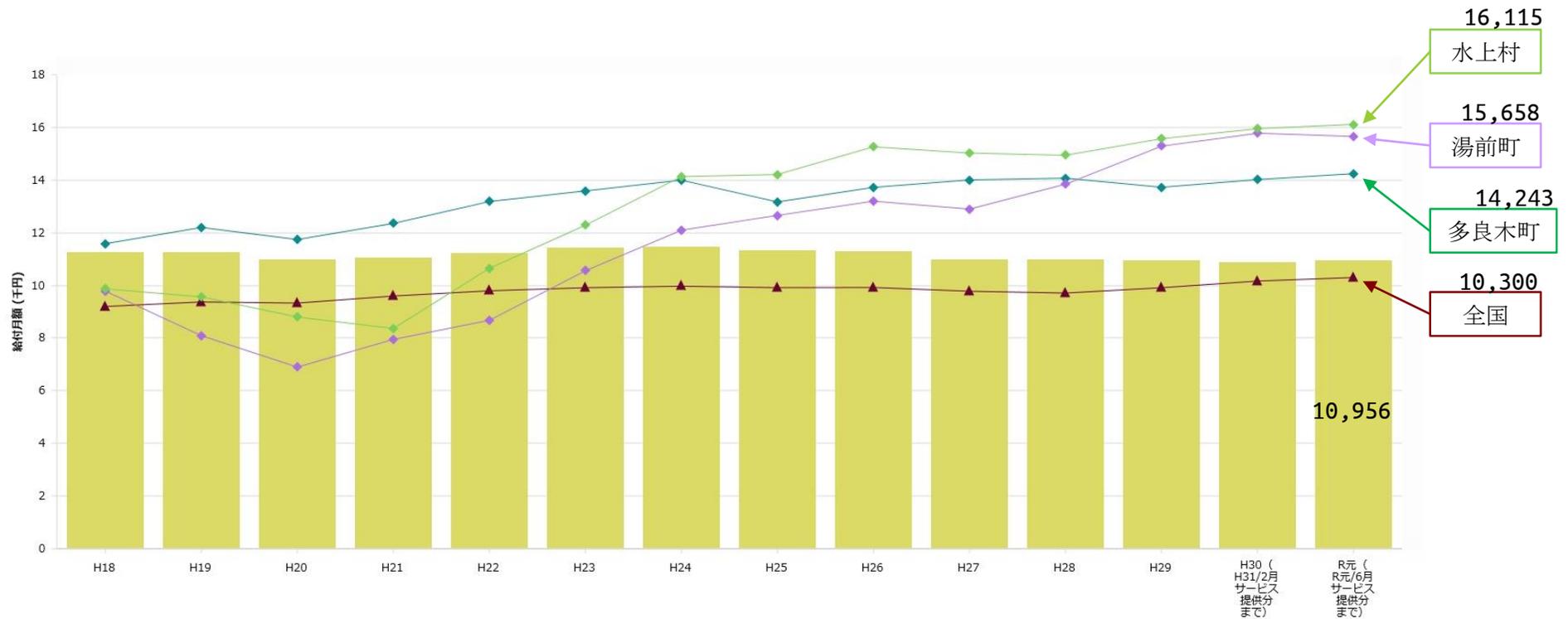
第1号被保険者1人あたり給付月額 (施設および居住系サービス)

■ 第1号被保険者1人あたり給付月額 (施設および居住系サービス) ▲ 全国

◆ 多良木町

◇ 湯前町

熊本県



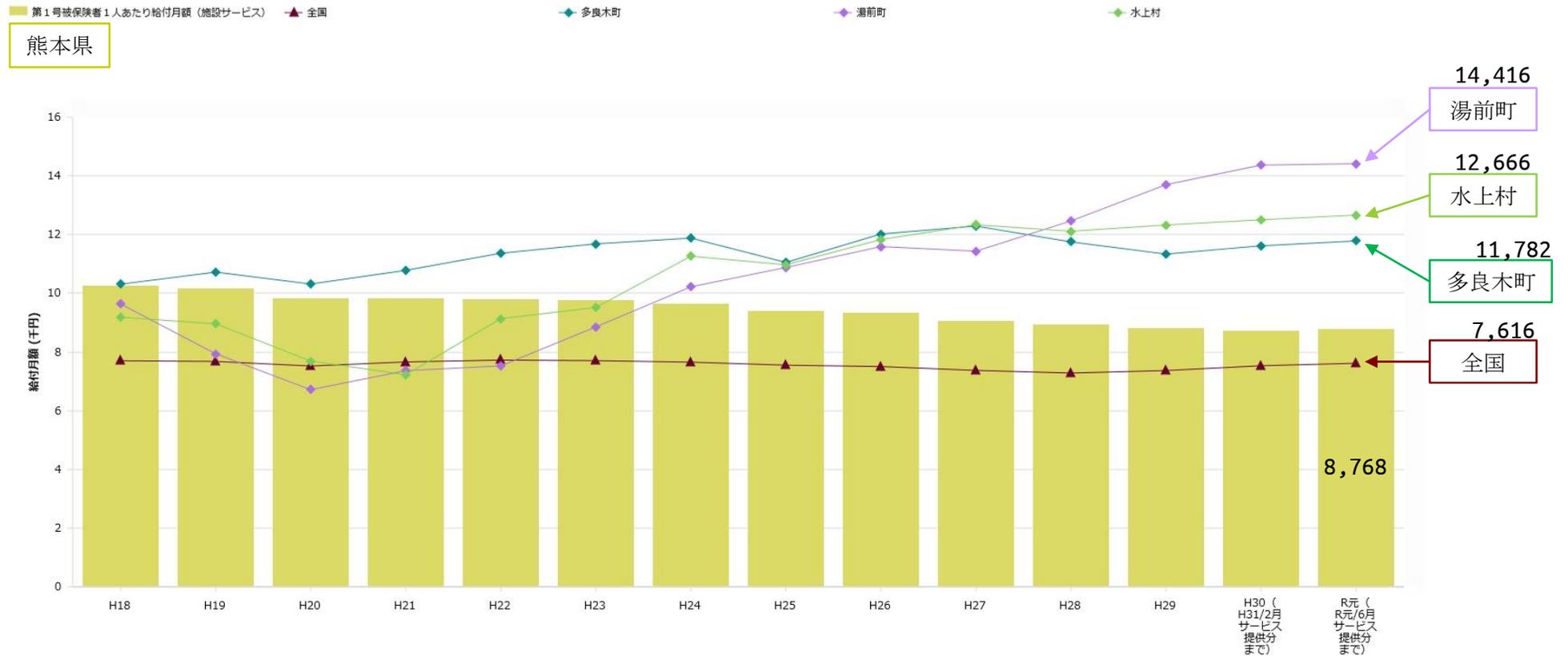
(注目する地域) 熊本県
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

地域包括ケア「見える化」システムより

第1号被保険者1人あたり給付月額

(施設サービス)

第1号被保険者1人あたり給付月額（施設サービス）

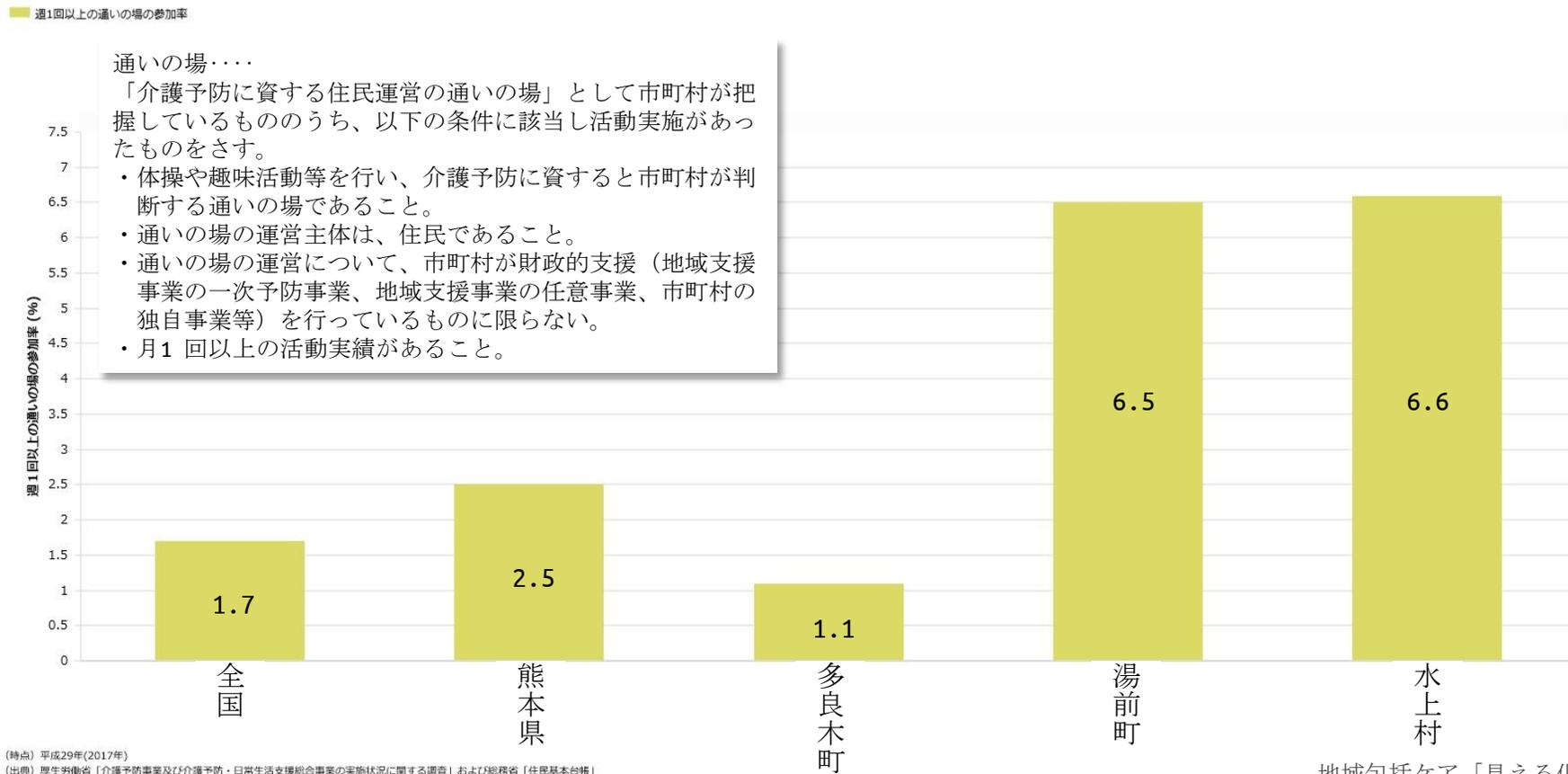


(注目する地域) 熊本県
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

地域包括ケア「見える化」システムより

週1回以上の通いの場への参加率

週1回以上の通いの場の参加率



週1回以上の通いの場への参加率…「通いの場」に週1回以上参加した高齢者の実人数を通いの場ごとに累計した人数を、住民基本台帳に記載されている65歳以上の高齢者数全体で除した値。

まとめ

- 高齢者数(≒被保険者数)は、多良木町においては今まさにピークを迎え、湯前町、水上村においては減少期に入っているものの、後期高齢者数は3町村とも今後微増もしくは横ばいで推移する見込み。
- 認定者数は平成29年度末に一旦減少したものの、再び上昇傾向に転じている(多良木町は過去最高値)。
 - ⇒後期高齢者数の増加に伴う重度認定者数の増加と認定者全体の増加による給付費の上昇が予想される。
- 施設サービスの受給率が3町村ともに全国・県平均値より高く、特に湯前町の受給率が高くっており、施設利用割合が多いことがうかがえる。
- 居住系サービスの受給率は多良木町、水上村が高く、地域密着型事業所の有無が影響していると思われる。

まとめ

○在宅サービスの受給率は多良木町、湯前町は県平均並み。

⇒多良木町は事業所数も多く、在宅サービスが行き届いていると考えられるが、施設・居住系サービスの待機者が多いことも踏まえると、在宅サービスを使わざるを得ない状況にあるということも考えられる。

○在宅サービスの受給率の平均値と比較すると要介護2の受給率が高く、要介護1の受給率は低い。認定率を見ても同様であり、受給者1人あたり給付月額を見ても要介護2の給付額が他の介護度より極端に大きくなっている。

⇒上球磨地域においては要介護2に至らないための、高齢者の介護予防、自立支援の取り組みの推進を検討する必要があるのではないか。

まとめ

○第1号被保険者1人あたり給付月額においても、施設および居住系サービスの給付月額が高くなっている。これまでの推移をみても、全国・県平均は概ね横ばいで推移しているが、これに対し3町村は年々上昇傾向であり、平均値を大きく上回っている(多良木町・湯前町においては在宅サービスも給付月額が全国平均より高い＝サービスを潤沢に使用)。

⇒地域包括ケアシステムの観点からも、施設偏重になることなく、在宅での生活をできるだけ維持するために介護予防・自立支援の取組みを推進し、必要な人に必要な分だけ介護サービスを提供するために介護給付の適正化を図っていく必要がある。

◎住民主体の通いの場づくりが推奨されており、湯前町・水上村では既に多数の通いの場が創設されている。介護予防のみならず、高齢者の生きがいづくり、見守り等の地域づくりの観点からも有効であることから、行政・住民・専門職等一体となって通いの場の立ち上げ・継続支援に取り組み、もって「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図ることが重要である。